

令和3年5月31日

令和2年度 保育所における自己点検・自己評価

【西みずほ台保育園】

A：大変よい
B：よい
C：一部検討を要する
D：改善を要する

◎ 保育の計画の編成と実施に関する評価

項目	内容	評価				意見・改善策
		A	B	C	D	
保育目標について	(1) 保育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。		○			園で定めている5項目の保育目標に対し、計画的に実施するように行った。 しかしながら、コロナ禍の中での実践の難しさもある。
	(2) 目標は、各施設や地域の特色を生かしているか。	○				
	(3) 目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか。	○				
	(4) 目標は、前年度の反省を生かしているか。	○				
	(5) 目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。		○			
保育について	(1) 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。	○				保育計画については、乳幼児の実態に即して作成している。
	(2) 保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っているか。		○			
	(3) 環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか。		○			
	(4) 素材・用具を適切に活用しているか。	○				
	(5) 評価結果を基に、保育の改善に努めているか。		○			
日時程	(1) 1日の流れ（デイリープログラム等）は現行でよいか。	○				特に問題なし。
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。	○				新型コロナウイルスの感染拡大防止の為、行事内容を大幅に制限した。計画については、職員会議での徹底を図り、実施後は反省会で評価し、改善点を全員で周知している。
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。	○				
	(3) 乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか。	○				
	(4) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。	○				
	(5) 保護者の願いや意見を取り入れているか。		○			

◎ 保育の計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価

項目	内容	評価				意見・改善策	
		A	B	C	D		
経営・組織	分掌・体制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。		○			適材適所の配置を心掛け、姉妹園との人事異動を行うことにより、風通しの良い環境作りを作った。
		(2) 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。		○			
		(3) 職員の配置は適材・適所か。		○			
		(4) 係や仕事の分担・割り当ては適切か。			○		
	運営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。	○				会議では自発的な発言を心掛け、相互間の助言も含め今後も全体会議での改善を図る。
		(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。		○			
		(3) 打合せ回数、時間、内容は適切か。	○				
	年齢別・クラス経営	(1) 年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定しているか。	○				コドモン（タブレット）を導入し、記録の集積はだいぶ少なく出来ている。
		(2) 年齢別・クラス目標は、乳幼児の実態に即して設定しているか。	○				
		(3) 年齢別・クラス目標に迫る短期・長期のねらいは適切に設定しているか。	○				
		(4) 同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。	○				
		(5) 意義や趣旨を理解したチーム保育を行っているか。		○			
		(6) 評価、資料（諸記録）を集積しているか。			○		
	保健・安全指導	(1) 年齢別・クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じているか。	○				散歩表を導入し散歩計画を把握出来るようにした。（携帯電話所持者の把握）近隣の公園へのお散歩経路は地図上にルートに記載し、どの保育士も確認出来るようにしてあるので、特に問題なし。
		(2) 避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。	○				
		(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。		○			
(4) 乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。			○				

項目	内容	評価				意見・改善策
		A	B	C	D	
研究・研修	所内	(1) 研究主題は、保育目標の具現化につながるものであるか。	○			キャリアアップ研修・質向上研修についてはコロナ対策により、リモート研修も多くあったが、外部での研修にも参加でき、前年度より職員会議等で報告出来るなど、共有出来ることが増えてよかった。
		(2) 所内研修の計画・運営は適切か。	○			
		(3) 研究の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映させているか。	○			
		(4) 研究の実施による乳幼児理解が深まりを見せているか。		○		
	所外	(1) 各種研究会、研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。	○			
		(2) 各種研究会、研修会、講習会での内容を所内に還元しているか。		○		
情報について	(1) 乳幼児や保護者に関する個人情報 を 適正に取り扱っているか。	○			家庭状況表、緊急連絡簿などは、施錠された所定の場所に保管されている。	
	(2) 公文書收受、発送、処理を適切に行っているか。	○				
	(3) 各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理しているか。		○			
施設・設備	(1) 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。	○			施設内及び遊具用の安全点検は計画的に実施されており、出来る限り、指摘に対して改善するように心掛けている。	
	(2) 遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管しているか。		○			
	(3) 不審者等に対する周な配慮を行っているか。	○				
	(4) 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。	○				
出納経理	(1) 各種会計を適正かつ適切に処理しているか。	○			会計士指導の下、処理をしている。	
開かれた保育所づくり	施設間交流・連携	(1) 他施設等との年間交流計画は、保育目標や課題に添ったものになっているか。	○			園内での行事については実施している。保護者参加の行事については、現状に合わせて行っている。しかし、グループ園との交流については年に4・5日程度実施している。
		(2) 他施設等の幼児児童生徒と触れ合う中で、(乳)幼児が楽しく過ごし充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。		○		
		(3) 指導者どうしが、打合せや事前研修・合同研修を行い、互いの保育・教育に対しての理解を深め、援助について共通理解を図っているか。		○		
		(4) 参観や保育・授業等に参加するなどして、幼稚園・小学校の教育を理解しているか。		○		
		(5) 日常的に情報を交換し、それを交流活動に生かしているか。		○		

項目	内容	評価				意見・改善策
		A	B	C	D	
開かれた保育所づくり	家庭・地域社会との連携			○		保護者以外の参観については、安全確保の問題もあり、未実施としている。
	(1) 参観時間を制限せず、保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。			○		
	(2) 保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。			○		
	(3) (乳) 幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。			○		
子育て支援の推進	(4) 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。			○		保護者がいつでも相談しやすい環境作りをしている。また、園だより・保護者会などを利用し子育てについて盛り込んだり等、発信している。
	(1) 地域の子育てセンターとして、園庭や保育室等を開放しているか。					
	(2) 地域に住む子どもどうし、あるいは親子が一緒に遊ぶことができるような場の設定を行っているか。					
	(3) 「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。			○		
	(4) 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。		○			
情報の発信	(5) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。	○				コドモンを利用し、定期的に発信している。
	(1) 保育所だより・クラス掲示物、ホームページ等で施設の情報を発信しているか。		○			
外部評価	(2) 行事や子育て支援事業等を、地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。		○			今後、運営・保育に対する第三者の評価を検討している。
	(1) 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。				○	
	(2) 地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか。		○			